

電気料金の値上げ

経営合理化の徹底を前提とした電気料金の値上げを実施させていただきました。

■ 値上げの経緯

当社は原子力発電所の停止に伴う非常に厳しい電力の需給状況に対応して、火力発電の焼き増しや他社からの電力購入など、安定供給の確保に最大限取り組んでまいりましたが、これにより、燃料費や購入電力料が大幅に増加し、2011年度から2年連続の大幅な赤字となりました。

当社としては、緊急の経営対策によるコスト削減と純資産の取崩しにより、可能な限り電気料金を維持してまいりましたが、財務状況が急速に悪化し、資金調達にも支障をきたすおそれがあったことから、やむを得ず電気料金の値上げを実施させていただきました。

中期経営方針の策定

- 基本的な考え方
- 重点的な取組み

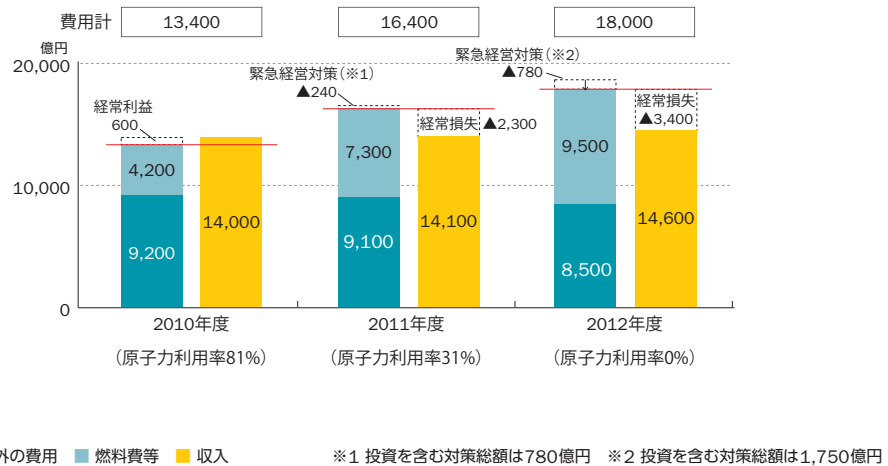
電気料金の値上げ

- 値上げの経緯
- 値上げの概要

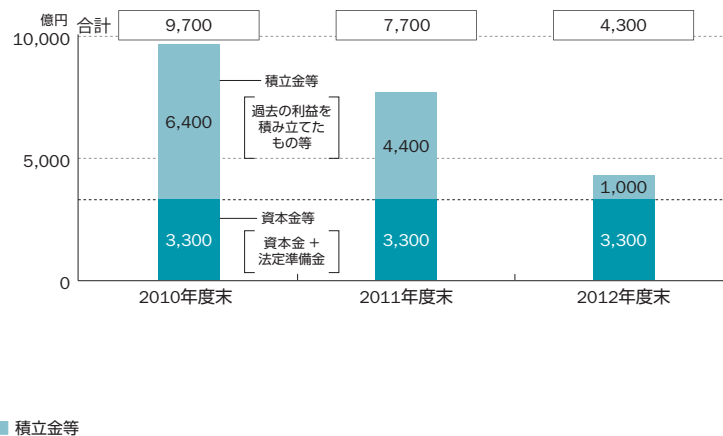
原子力発電所の安全・安心への取組み

- 新規規制基準の概要
- 新規規制基準を踏まえた当社の安全対策
- 原子力防災体制の強化と訓練の実施

収支の推移



純資産の推移



中期経営方針の策定

- 基本的な考え方
- 重点的な取組み

電気料金の値上げ

- 値上げの経緯
- 値上げの概要

原子力発電所の安全・安心への取組み

- 新規基準の概要
- 新規基準を踏まえた当社の安全対策
- 原子力防災体制の強化と訓練の実施

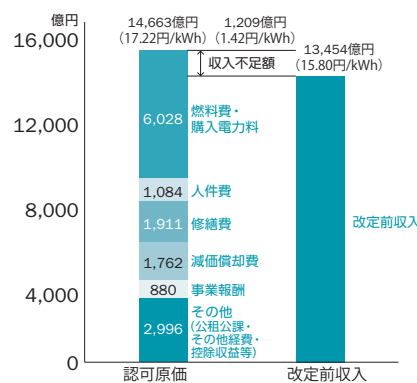
■ 値上げの概要

値上げ内容

	値上げ時期	新単価	旧単価	値上げ率
規制部門	2013年5月～	21.14円	19.90円	6.23%
自由化部門	2013年4月～*	14.49円	12.94円	11.94%

*自由化部門については、契約満了時期に応じて順次更改

認可原価と改定前収入の差



前提諸元

	前回:A (2008年度)	今回:B (2013～2015年度)	差:B-A
販売電力量 億kWh	879	853	▲26
原油価格 \$/b	93.0	105.9	12.9
為替レート 円/\$	107	79	▲28
原子力利用率 %	83	55	▲28
事業報酬率 %	3.0	2.9	▲0.1
経費対象人員 (シニア社員含む) 人	12,234	12,007	▲227

経営効率化への取組み

今回の料金原価には、▲1,400億円規模の効率化努力を反映いたしました。今後もグループ会社と一体となって経営効率化を徹底してまいります。

料金原価に織り込んだ効率化の金額

項目	2013～2015年度平均	主な取組み内容
減価償却費(設備投資)	▲230億円	・設計基準、仕様の見直し ・工事中止・繰延べ・規模縮小
修繕費	▲320億円	・点検周期の延伸化 ・修繕工事中止・繰延べ・規模縮小 ・資材調達や工事発注時の競争発注導入拡大
人的経費	▲480億円	・役員報酬の削減、年収水準の引下げ ・福利厚生の見直し ・健康保険の事業者負担割合の引下げ ・採用の抑制
需給関係費(燃料費など)	▲180億円	・LNG・石炭など燃料調達コストの削減 ・購入電力料のコスト削減
その他経費(諸経費など)	▲220億円	・業務委託範囲・内容の見直し ・普及開発関係費、団体費、研究費等の中止・繰延べ・規模縮小 ・資材調達や工事発注時の競争発注導入拡大
合計	▲1,400億円規模	—